



金融システム・金融市場に関連する実証研究

経営情報学部 経営学科

准教授 塚原 一郎（つかはら いちろう）

連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 1723号室
Tel 082-251-9558 Fax 082-251-9558
E-mail i-tsukahara@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 金融論、計量経済学

キーワード： 金融システム、金融市場、家計の金融行動、地域金融、実証分析

● 現在の研究について

日本の家計の貯蓄や投資行動の特徴について、マクロデータやアンケートデータなどを用いて統計的に分析をしています。貯蓄や株式投資が多いのはどのような属性の家計かを解明することにより、取るべき対策も変わってきます。

マイナス金利の導入もあり預金金利も下がり、預貯金だけをしておいても資産が増えず、自分で将来設計を考えなくてはいけない時代になっています。研究者だけでなく、一般の社会人にも興味を持たれているテーマです。金融だけでなく、家計の労働や教育などの社会的な問題も考える必要もあります。実証分析をする際には、資産の組合せと量を選択するモデルについても考察を行っています。

さらに、近年変動が激しい金融市場について、どのような特徴があるかも統計分析を用いて研究をしています。日本と欧米の株式市場、株式市場と外国為替市場など、複数の市場が相互にどのように影響しあっているかについて、興味を持っています。中央銀行や政府の対応が、株価や為替レートなどの市場価格にどのように影響をしているかも分析します。その前提として、各国の金融政策、金融制度についても、最新の状況の把握に努めています。

グローバル化の時代においては、海外市場と日本の市場との関係は、さらに注目されることが予想されます。

● 今後進めていきたい研究について

今後も引き続き、金融制度変更が市場や家計の行動にどのような影響を与えるか、研究を進めていきたいと思います。さらに、地域経済の活性化のための金融行政・金融機関の役割、グローバル金融危機とその対応など、現在注目されているテーマについても研究をしていきたいです。

また、実際に実証分析をする際に直面する問題に関連して、計量経済学・統計学の方法論に関しても考察を行っていきたいです。

● 地域・社会と連携して進めたい内容

地域経済における金融の役割について、特に県西部と東部の状況を比べながら考察していきたいです。